

精神保健の小冊子の発行・講演会開催日

年 度	表 題	演 者	開催日
平成 6	痴呆老人の介護のあり方 *	室伏 君士	H 5. 1.23
	主婦の心の健康 *	荒井 稔	H 3. 1.19
平成 7	ゆれ動く思春期 —子供の心をどう理解するか— *	佐藤 泰三	H 4. 1.18
	働く夫婦のためのメンタルヘルス *	藤井 久和	H 6. 1.29
平成 8	ぼけないために、そして、ぼけたと思ったら *	新井 平伊	H 8. 1.27
	眠れない人、眠りすぎる人 *	井上 令一	H 7. 1.28
平成 9	親が対応に困る青年期の心の病	下坂 幸三	H 9. 1.25
	現代の「うつ」と不安 —一人で悩まぬために— *	永田 俊彦	H10. 1.17
平成 10	精神障害の生き方と社会参加について *	廣澤 正孝	
	ストレス時代をどう生き抜くか *	荒井 稔	H10.10. 3
平成 11	現代の子どもの心の問題をめぐって *	廣澤 郁子	H11. 1.23
	質のいい物忘れと質の悪い物忘れ * —アルツハイマー型痴呆とは—	一宮 洋介	H11.10.16
平成 12	お酒と健康 —アルコール依存を中心に— *	三井 敏子	H12. 3.18
	健康な眠りを守るために —睡眠障害の予防と治療— *	井上 雄一	H12.10.28
平成 13	中・高年のうつ病 *	河村 哲	H13. 3.24
	最近の気になる胃の病気 * —ストレスと消化器疾患— (ヘリコバクターピロリ菌を含む)	永原 章人	H13. 7.28
	ストレスとはなにか・うつ病とはなにか * —職場と家庭のメンタルヘルス—	井上 令一	H13.11.17
平成 14	最近の子供の心をどう理解するか —おちつかない子・きれる子・不登校—	佐藤 泰三	H14. 3.23
	リウマチ・膠原病の治療と日常生活の過ごし方	橋本 博史	H14. 8. 3
	もの忘れに気づいたら —痴呆の予防と対策— (未発刊)	高橋 正	H14.11.16
平成 15	きれやすい若者たち —思春期の心のケア— *	井原 裕	H15. 3.15
	現代社会を生きる親の苦勞と子の苦勞 *	下坂 幸三	H15. 7.19
	心のケアのおくすりの話 *	鈴木 利人	H15.11.22

年 度	表 題	演 者	開催日
平成 16	人とうまくつきあう ー話し上手・きき上手ー	岩船 展子	H16. 3.27
	高齢障害者の介護について	室伏 君士	H16. 7.31
	自閉症児の接し方 ー日本テレビ放映「光とともに」の経験を踏まえてー	内山登紀夫	H16.12.18
平成 17	「認知（痴呆）症」について * ー最近の診断と治療の変化についてー	井関 栄三	H17. 3.19
	「アルコール依存症」 ー飲酒の功罪ー *	成瀬 暢也	H17.7 .23
	「生活習慣病などによる肝機能障害」 * ーアルコール性肝障害へウイルス性肝障害と診断されたらー	宮崎 招久	H17.11.19
平成 18	アスペルガー症候群と高機能自閉症とは？ ーその理解と対応についてー	廣澤 郁子	H18. 3.18
	足白癬・爪白癬を中心としたフットケアについて ーストレスと皮膚疾患ー	河井 正晶	H18. 7.22
	職場のメンタルヘルス ー復職をめぐってー	島 悟	H18.11.18
平成 19	コグニティブトレーニングの脳とからだに対する効果 *	桐野 衛二 東根 明人	H19. 4.21
	パーキンソン病を知るーわかってきた様々な顔ー *	森 秀生	H19. 7.28
	家族のライフサイクル ー成長する家族の課題と問題ー *	中村 伸一	H19. 12.1
平成 20	今日のうつ病 ーうつの人への接し方ー *	井原 裕	H20. 4.19
	老化・加齢について考える *	小林 茂人	H20. 7.19
	「うつ」からの社会復帰ー認知行動療法を用いた取り組みー *	酒井 佳永	H20.11.15
平成 21	アルツハイマー病の診断と治療 * ー若年性アルツハイマー病を含む最新の情報ー	高橋 正	H21. 4.25
	睡眠と健康 *	井上 雄一	H21. 8.29
	現代社会における依存症のさまざま * ーアルコール・薬物問題の正しいとらえ方ー	成瀬 暢也	H21.11.28
平成 22	就労者のメンタルヘルス *	荒井 稔	H22. 4.17
	統合失調症を理解しよう * ー職場の仲間や家族のためにー	廣澤 正孝	H22. 7.24
	思春期のひきこもりについて (予定)	青木 桃子	H22.11.27
平成 23			
平成 24			

演題の*印は財団法人日本宝くじ協会の助成金を受け作成した冊子です。